

ATACの最近の活動状況 - 昨年の回顧と今年の展望 -

財団法人 大阪科学技術センター

ATAC運営委員(ATAC News編集担当)

池田 隆果

ATACの活動についてはその都度ATACNewsに掲載していますが、今回この一年を振り返って改めてご紹介するとともに、本年に計画している主な活動についてもお知らせして今後のご理解・ご支援をお願いしたいと思います。

1. ATAC講演会

3月11日と9月30日の2回、テーマを「5S」、「生産管理」、「原価管理」など、すぐにも企業の経営改善に役立つテーマを選んで開催しました。また、(株)三鈴の鈴木雅也社長から「中国におけるビジネス展開の光と影」と題する企業の関心の高い話をさせていただきました。

参加者はいずれも80数名を数え、講演会後の無料相談会および交流会を通じて企業が抱えておられる課題を伺い、アドバイスさせていただきます。

本年は3月2日に「ISO関連」のテーマで開催する予定にしています。

2. 社長懇話会

企業トップの相互研鑽を支援する目的で年2回程度の開催を続けています。

12月1日にコンピューター用電源などの有力メーカーである(株)ニブロン(尼崎市)を見学し、酒井節雄社長の示唆に富んだ講話を拝聴しました。20名の企業トップの参加を得て盛会でした。詳しくは本誌掲載の別記事をご参照下さい。

3. 展示会参加

11月9・10日に開催された「産産学ビジネスマッチングフェア2010 with大阪大学」に出展し、また11月12日には「大阪市信用金庫 - 大阪市立大学 産学連携セミナー」に出展し、梶原ATAC運営委員長が「製品化のための支援施策の紹介」と題してATACのコンサルティング活動の事例を紹介しました。

これら2つの展示会には毎年出展していますが、相談に来訪された企業とはその後もコンタクトを続けており、コンサルティングに繋がったケースもあります。

4. 講師派遣

京都府中小企業技術センター(綾部市)からの依頼で一昨年12月~昨年1月および6~7月

に、「金属材料」、「高分子材料」、「繊維材料」、「生産管理」、「品質管理・品質保証」、「5S」、「新製品開発」、「製品設計」、「IT導入・活用」のテーマで、また、(財)京都産業21(京丹後市)からの依頼で3月に「金属材料」、「機械切削加工」のテーマでそれぞれ地方の企業の技術者数十名を対象にATACメンバーが講義を行いました。今後も中小企業の技術力向上に協力する所存です。

また、学校法人立命館から昨年も引き続き大学3年生対象の産学協同アントレプレナー教育プログラムの「製品事業化システム論」の講義の依頼を受け、8名が各自の経験を講義しました。

5. 宿泊見学旅行

ATACメンバーの研鑽のために毎年実施している行事で、12月8・9日に徳島地方の4企業を訪問しました。シンビジウムの新種栽培で有名な(株)河野メリクロン、樹脂フィルムシーラーの富士インパルス(株)三好工場、天然木から極薄板の紙を作り出す(株)ビッグウィル、合成樹脂を原料にした機能紙のトップメーカーの阿波製紙(株)阿南工場、と今回も地方の元気なものづくり企業を見学することができました。詳細は本誌別記事を参照下さい。

6. ATACMATE交流会

ATACの兄弟グループは現在、大阪、奈良、和歌山、岡山、広島と5グループを数えますが、毎年全グループが集って中小企業支援に関する知恵・工夫を交換し合っています。今年は4月初めに大阪に集って情報交換する予定です。

7. ATAC設立20周年記念行事

本年は1991年にATACが設立されて丁度20年を迎えるので、記念行事の計画を固めている段階です。

10月に講演会と記念交流会を開催し、またこの機会にATACでこれまでに取り組んできた環境問題に関する活動を取りまとめて出版する予定にしています。

中小企業支援のコンサルティングそのものに関しては具体的には触れませんでした。ATAC発足以来の支援企業は170社、コンサルティングの件数は延べ700件を数えるまでになりました。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。